

第 53 回流体力学講演会/第 39 回航空宇宙数値シミュレーション技術シンポジウム
参加者アンケート 集計結果

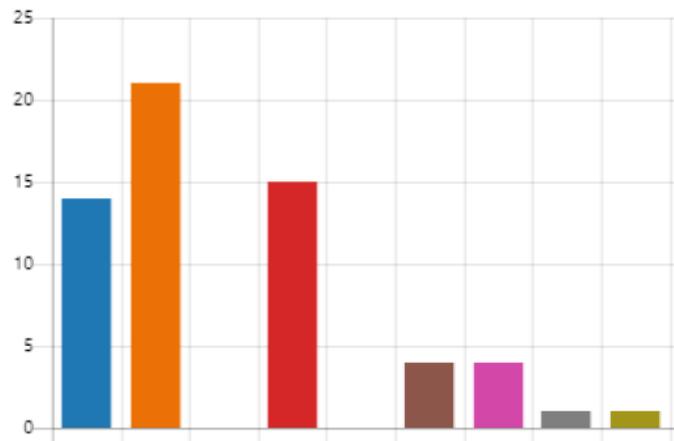
1. 今回参加された日を全てチェックしてください：

● 6/30 (水)	50
● 7/1 (木)	50
● 7/2 (金)	47



2. ご所属をお選びください：

● 大学教職員	14
● 学生	21
● 教育機関 (大学以外)	0
● 公的研究機関	15
● 民間研究機関	0
● 航空機・重工関連企業	4
● 自動車関連企業	4
● 流体関連企業	1
● 計算機・ソフトウェアベンダー	1

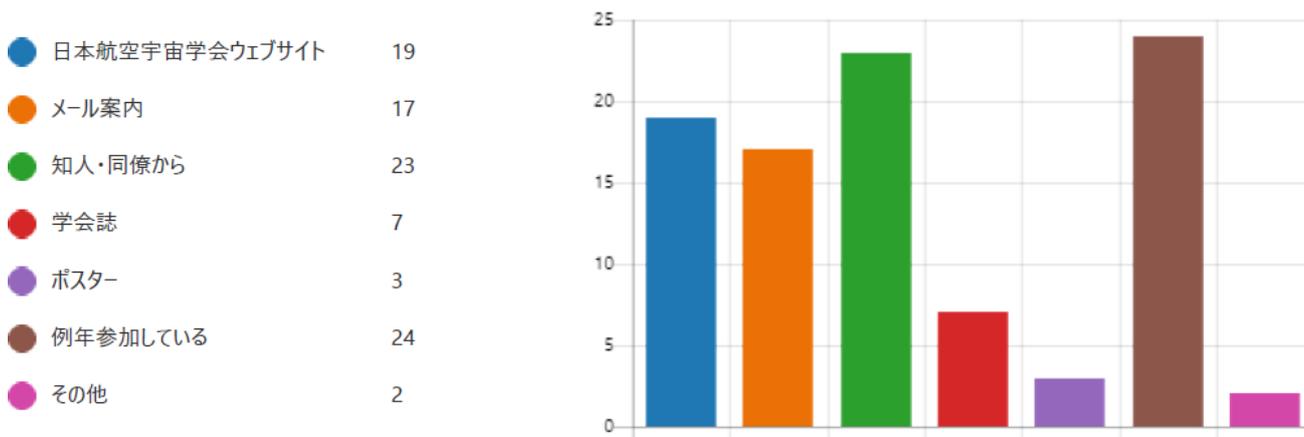


3. 年齢区分をお選びください：

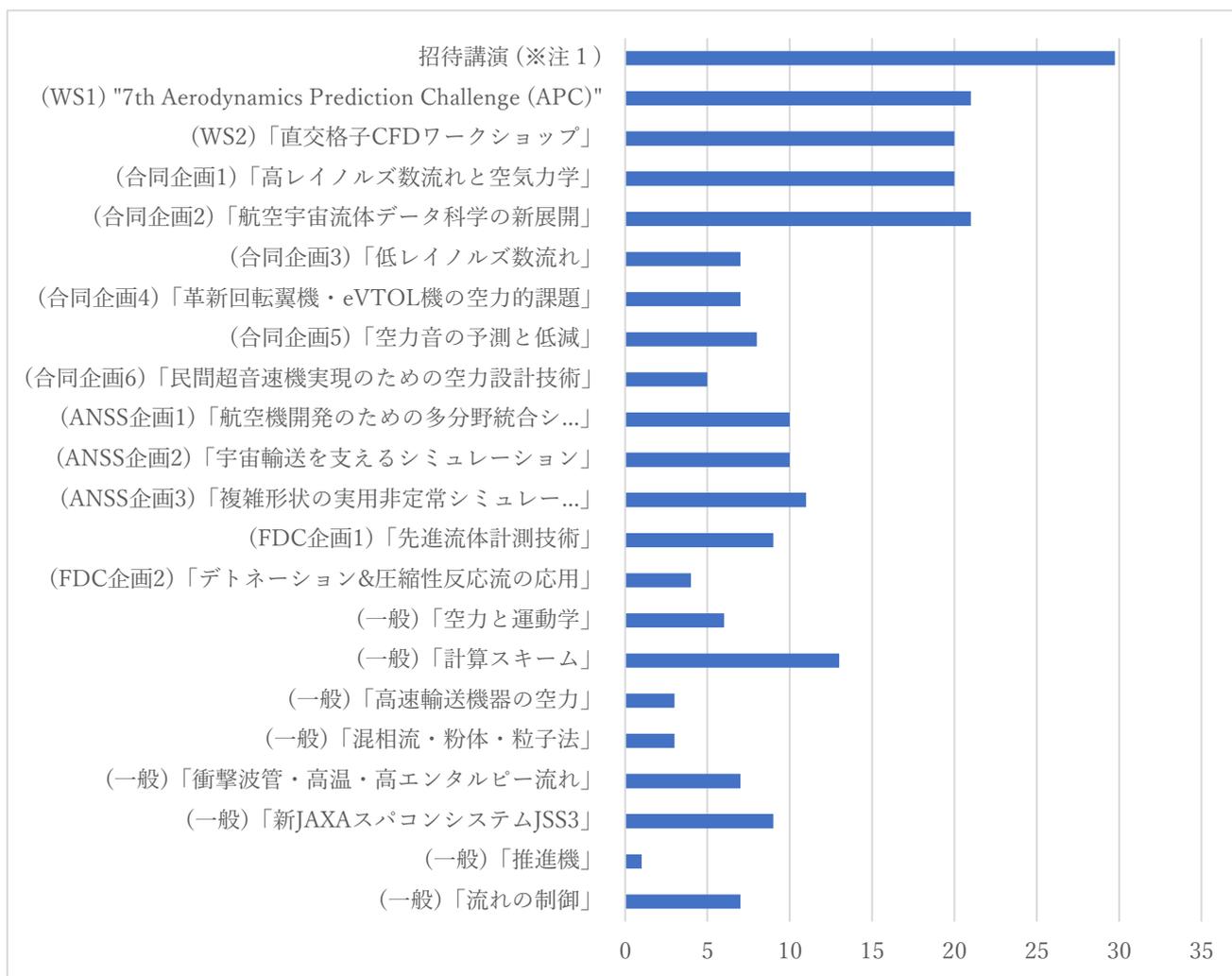
● 20歳代以下	21
● 30歳代	9
● 40歳代	16
● 50歳代	9
● 60歳代以上	5



4. 本シンポジウムを何で知りましたか？ 当てはまるもの全てをチェックしてください：



5. 興味を持ったセッションを教えてください。当てはまるもの全てをチェックしてください：



(注1：招待講演は全4件の平均値)

注2：アンケートの選択肢が上に来ているものにチェックが多いため、結果の有意性に疑問あり)

6. 今後、新たに企画してほしいセッション・招待講演者などお書きください：

- メーカーの方が参加しやすいようなセッションを考えて欲しい
- 超音速エンジンの空気力学
- 応用数学者を呼び込むようなセッション。メッシュ生成、不連続ガラーキン法など
- 若手教育のセッション
- 日本版 CFD Vision と諸外国の CFD Vision 検討者のパネルディスカッション
- ベテラン研究者・技術者によるチュートリアル（若手研究者を対象としたミニ講義）

（注：招待講演者の希望は個人名であるため、割愛）

7. Webex によるオンライン会場の印象はいかがでしたか？

● 非常に良い	10
● 良い	26
● 普通	23
● 悪い	1
● 非常に悪い	0



8. 7. の回答の具体的な理由があればお聞かせください：

- オンラインだとセッション終了後の休憩時間に質疑のフォローアップができない、直接の情報交換ができないのは残念、など
- 事務所、自宅から気軽に参加できることは利点
- チャットが上手く活用できると盛り上がる
- オンラインも多々利点があるが、やはり人と直接出会うことに刺激がある
- 将来的には対面とオンラインのハイブリッドにしてほしい
- 初日の冒頭、繋がりにくかった
- 最初はトラブルがあったが、それ以降ほどの発表者・司会の方もよく使いこなしていた
- セッションの開始や次の講演への移行がスムーズにされていて、大きなトラブルもなかった
- 進行が臨機応変かつ非常にスムーズであった
- 個々のネットワーク環境に音声・画像の質が依存する
- 概ね音声・映像ともクリアでした
- Webex の仕様で画面全体しか共有できないのはイマイチ
- オンラインでの質問フラグを司会者が認識しづらいようだったので改善したほうが良い
- HP やメールによる案内が丁寧で分かり易かった
- 特に困ることもなく利用できた

9. 開催日程についてご意見があればお聞かせください：

- 現状のままで良い
- 大学の授業のない時期のほうが有難い

10. その他、ご意見、ご感想があればお聞かせください：

- 招待講演がたいへんよかった
- 招待講演は聴講者とのディスカッションをする時間が欲しかった
- 会議室を変更するたびに名前とメールアドレス入力が面倒だった
- 前刷講演論文集サイトからダウンロードした一括 PDF がプログラムからリンクされておらず、全ての論文が繋がっていたので不便
- セッションの合間に BGM を流したり企業広告に音を入れたりすると、参加者のスピーカーチェックにもなってよい
- 招待講演の録画データは JSASS 会員と JAXA 職員に公開してはどうか
- 来年は対面開催ができるといい
- 休み時間に流れていた企業広告は効果的だった
- 質問された方などと後日連絡を取れるように、連絡先を入手できる方法を考えてほしい
- Webex より Zoom の方が音声、画像ともに品質が優れている
- 申し込みを当日は無理にしても、前日までは可能にしてもらいたい
- 初めて参加したが、どの講演も非常に面白く、勉強になるところが多くあった